

研修医の声

経験数を重ねるだけでなく、 学びの習慣が根付いている新発田病院研修医

県立新発田病院

藤間晴也

私は新潟大学病院のタスキがけとして新発田病院にきました。編入のような形でしたが、新発田病院の研修医は快く受け入れてくれ、病院のシステムや日々の診療についても、嫌な顔ひとつせず丁寧に教えてくれました。その温かいサポートには心から感謝しています。

本院研修医は、日常の症例をそのまま終わらせることはできません。診療後には必ず振り返りが

あり、研修医同士で症例を共有し、自分の判断が適切だったかを考えます。気付いた点があれば、遠慮なく指摘し合い、互いの成長を後押しする文化があります。この「フィードバックの習慣」が、単なる症例経験の積み重ねを超えて、確実にアカデミックな診療へつながっています。

新発田病院で研修できたことを心から良かったと思います。



研修医室で行う救急外来検討会



新入研修医歓迎飲み会の様子（1番左が筆者）